

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



# 森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和3年3月号）

令和3年3月1日

梅一輪一輪ほどの温かさ(嵐雪)。お城の梅は見ごろを過ぎよう  
としています(右写真)。桜の開花まではまだしばらく辛抱ですね。



さて、今月の活動予定をご案内いたします。

**3月14日(日) 09:00~10:30** 南口電停脇の「みんなの庭」  
の手入れをいたしましょう。

＜4月の共同活動日は11日(日)、5月は9日(日)を予定しております＞

.....  
○トピックス：

—2月14日(日)：この日も温かく、南口電停横「みんなの庭」を5人で手入れいたしました。  
パンジー、ビオラ、ホトケノザ、菜の花、ローズマリーなどの競い咲きをご覧ください。

—2月16日(火)：高知市みどり課を訪ねて「丸の内緑地」のリニューアルについてお話を伺  
いました。内容を次ページにまとめてあります。

—S様から切手をたくさんご寄付いただきました。使わせていただきます。有難うございました。



.....続きは次ページをご覧ください.....

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗  
持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：[m.nakata1941@gmail.com](mailto:m.nakata1941@gmail.com)

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：[kumont2@yahoo.co.jp](mailto:kumont2@yahoo.co.jp)

ホームページ：<http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」ナカタマサシ名義 普通 0709695

## 藩政時代をメージして — 丸の内緑地のリニューアル工事

高知城の東南に位置する「丸の内緑地」の大規模リニューアル工事が始まりました。

市のみどり課によると、開設から約４５年が経過して橋など施設の老朽化が目立つほか、緑地に求められる機能も変化しているので、賑わいの創出、防災機能の確保、城とマッチする景観整備などを目的に計画をたてたそうです。令和４年度末の完成を目指しています。（右は完成イメージ図）



具体的な内容は、

1. 通路橋の架け替え＝先行（本来木橋であるべきだが、強度の観点から鉄材を使い、色彩を木に似せた）
2. 緑地中央にイベント広場や親子の遊び場など多様に利用できる芝生広場を整備
3. 緑陰や日向に座れるベンチ、お城の天守を眺望できる四阿（あずまや）などを設置
4. 史跡に関する説明板などを充実
5. 堀沿いに松の木を列植

などです。詳しくは市のホームページをご覧ください。

先日現地を訪ねたら、すでに数本が伐採され、一部は移植（公園内の他の場所への）の準備が始まっていました（右の写真は切り株と、クスの移植準備）。

「森の中の高知駅」は一昨年１０月のパブリックコメントに応募、樹木を伐らないよう要望しましたが、市によれば「ご意見は尊重して計画に反映させる」よしです。



高知城の敷地（城跡）は文化財保護法により国の史跡＊（歴史・学術上価値の高いもの）に指定されており、樹木の伐採、施設の新・改築などは厳しく規制されます。原則として、往時（本件の場合は藩政時代＝馬場であった）の景観・たたずまいを保存・復元する範囲内での工事しかできないとのことです。（＊市内では武市半平太旧宅と墓、山内家墓所なども指定されている。）

ちなみに、京都にある国指定名勝「無鄰菴庭園」では、樹木が成長して売り物の比叡山の眺めを遮るので、過日邪魔な樹を伐ることになりました。庭園の管理者「植彌加藤造園」の匠から直接伺ったところ、眺望の「復元」ということで剪定の許可を得（伐採はダメ）、充分日数をかけ、視点を移動しながら必要な範囲でチョコチョコ伐って、かつての景観を回復できたそうです。